

千田さん(釜石)女性文化賞

戦争体験長年語り継ぐ

東京都の詩人高良留美子さんが創設し、NPO法人平塚らいてうの会(東京)の米田佐代子会長が引き継いだ女性文化賞の第21回受賞者に千田ハルさん(93)が釜石市中妻町Ⅱが決まった。主催する米田さんが11日発表した。



千田ハルさん

千田さんは1924(大正13)年釜石市生まれ。戦時中、日本製鉄釜石製鉄所でタイピストをしていた時に

2度の艦砲射撃を体験した。47年、文学や憲法を勉強してきた詩のサークル仲間とともに雑誌「花貌」を創刊し詩や短歌、随想などを発表。92年には編集責任者となり2004年に73号で最終するまで発行し続けた。15年には「卒寿記念」として絵本「ああ、わが街に

砲弾の雨が降る」を自費出版。さまざまなかた場で戦争体験を語り継いでいる。米田さんは「長い間にわたり戦争体験を語り継ぎ、地域から平和への思いを発信してこられた千田さんは女性文化賞の精神にぴったりだと思った」と受賞理由を語る。千田さんは「受賞は支援してくださった方々のおかげと感謝している。戦争反対、みんなとともに平和に暮らしたい、という気持ちを持ち続けていきたい」と

力を込める。賞金は50万円。お祝いの会は来年1月、釜石市内で開かれる予定。女性文化賞は97年、女性の文化創造者を支援するために高良さんが創設。昨年20回で終了することとなり、呼び掛けに応じて米田さんが志を引き継いだ。本県関係では第16回に一戸町出身の農民女性作家の故一条ふみさんが受賞している。

2017年(平成29年)

12月12日

火曜日

発行所

株式会社 岩手日報社
 市内丸3番7号
 郵便番号 020-8622
 ©岩手日報社2017

一歩一歩 ともに

東日本大震災6年9ヵ月